

# 奥羽大学報



郡山駅前で奥羽祭をPRする学生たち

## 目次

奥羽大学の理念・目的/ようこそ奥羽大学へ!平成30年度入学式/告辞	2
奥羽大学生の新たな旅立ち!オリエンテーションキャンプ開催	3
歯学部新入生オリエンテーション/薬学部フレッシュマンウィーク/薬剤師 国家試験ガイドランス/薬学部6年生特別実習中間発表会/「カリキュラム プランニングワークショップ」への参加	4
歯学部父兄会総会・保護者懇談会/薬学部父兄会・保護者懇談会/福島県 弓道国体強化選手に選抜されて/歯学部教員研修ワークショップ	5
第26回奥羽祭/米国毒性学会学術年会	6
献体者合同慰霊式・実験動物供養/薬剤経済国際学会での発表報告	7
日本口腔科学会・日本口腔外科学会開催/エッセン市訪日派遣団来校/京橋 歯科警察医会創立20周年記念式典で講演	8
奥羽大 now	9
FD・SD研修会/学生の「推し本」コーナー設置/平成30年度大学院入学式 /第1回大学院特別研修セミナー	10
2018(平成30)年度 進学相談会日程【年間予定】/自著を語る	11
無垢サロン/仙台国際ハーフマラソンに救護班で参加	12
附属病院	13
歯学部研究紹介	14
薬学部研究紹介	15
学校法人晴川学舎 平成29年度決算報告	16
キャンパスの風景	17
新任教授紹介/同窓生のひろば	18
人事	20
お詫びと訂正	21
平成30(2018)年度 夏のオープンキャンパス実施日程	22

## 奥羽大学の理念・目的

## 理念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

## 目的

奥羽大学は、教育基本法(昭和22年法律第25号)並びに学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部その目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

## ようこそ奥羽大学へ! 平成30年度入学式

平成30年度入学式が4月4日(水)午前10時より記念講堂にて行われた。式は国歌斉唱に始まり、清浦大学院研究科長の学事報告と続き、新入生164名(歯学部51名、薬学部113名)及び編入生24名(歯学部22名、薬学部2名)の全員が呼名され、入学が許可された。清野和夫学長より新入生への期待に満ちた告辞があり、これに対して入学生を代表し、歯学部藤田未来さん、薬学部浅野晴香さんが、「建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念する」と誓った。また、両学部長より歯学部27名、薬学部28名の特待生に対して証の授与があった。最後に教授紹介が行われ、厳粛な雰囲気の中に終了した。



## 告 辞

## 学長 清野和夫

新入生のみなさん、ご入学まことにおめでとうございます。ご両親様はじめご家族の皆様には、今日の日を大きな喜びをもってお迎えになられたこと、心よりお祝いを申し上げます。

本日、ここに、学校法人晴川学舎理事長影山英之様をはじめ、ご来賓の方々、新入生のご両親様、ご家族様のご臨席を賜り、奥羽大学入学式を挙行できますことは、本学の最も大きな喜びとするところでございます。新入生の皆さんは、将来、歯科医師、薬剤師になるという希望に胸を膨らませていることと思います。奥羽大学の在學生と教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

新入生の皆さんが本日の入学式を迎えることができましたのは、厳しい受験勉強を克服された努力の結果であると同時に、どのようなときにも温かく

見守って下さいましたご両親様、ご家族様をはじめ、多くの方々のお力添えのお陰だということ深く胸に刻み、感謝の気持ちを持ち続けながら、これからの勉学に励んでいただきたいと思います。

奥羽大学の建学の理念は「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材の育成」であります。歯科医師、薬剤師は医療人として、病に苦しみ、心身ともに弱り、悩んでいる患者さんと向き合うために、他人を思いやる心、すなわち患者さんの気持ちがわかる「豊かな人間性」を持たなければなりません。また、社会性に優れ、良好な人間関係を築き上げ、他人から信頼されることが求められます。いわば、歯科医師、薬剤師である前に、人間としての「まことの精神」を持たなければなりません。新入生の皆さんは、本学で学ぶ6年の間に、同級生、先輩、後輩そして教職員との交流を通して、「豊かな人間性」と「まことの精神」を養っていただきたい

いと思います。

その一方で、日進月歩する歯科医学と薬学の道に踏み出そうとしている皆さんには、日々の授業内容をよく理解し、忘れないように、学習していただきたいと思います。これまでの高等学校における勉強は、教えてもらうことが中心でしたが、大学では自分で学び修めることが基本になります。大学は、学問の進歩の中でたくわえた知識や技術を伝え授け、歯科医学、薬学の基礎となる部分を教えます。学生に求められるのは、その上にいかに自ら能動的に学ぶかであります。単に教えられた知識を覚えるだけではなく、それをもとにさらに深く自らが学習し、自らが探求し、自らが考える力を養うことです。

中国の朱子は「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」という詩を読みました。「若い時期は短いのに学問は成し難く、何も学ばないで終わってしまう、わずかな時間も無駄にしないで学問をするべきだ」という意味です。新入生の皆さんには、若い時期に大学で学ぶということの意味をよく理解していただき、豊かな人間性ととともに、知識と技能にすぐれた歯科医師、薬剤師になっていただきたいと願っています。

わが国は、世界に類をみない超高齢社会となりました。しかし、日本人の平均寿命と健康寿命との間には9年から12年の差があり、自分の力で自立した生活ができない期間が存在するという現状があります。この期間をできるだけ短くするには、国民の健康に対する意識を高めるとともに、人生のラ

イフステージに合わせた高度の医療が求められます。歯科医師、薬剤師は健康長寿社会を支える中心的役割を担うこととなりますので、医療人を目指す皆さんには大きな期待が寄せられているのです。

日本の科学が進歩し、いかに高性能の人工知能やロボットが開発されたとしても、心身ともに弱っている患者さんと向き合う歯科医師や薬剤師の仕事は、これらに代替えできるものではありません。新入生の皆さんには、超高齢社会における貢献度がますます高まっている歯科医師、薬剤師になりたいという希望をかなえ、地域社会に貢献できる人材になるよう、本学の学則を遵守しながら、日々、学業に精励邁進していただきたいと願っています。

皆さんは今日から、ここ郡山の地で新しい生活が始まります。喜び、希望と共に、いくばくかの不安を抱えていることと思いますが、安心してください。これから奥羽大学のキャンパスでたくさんの友人、先輩、そして先生に出会うことになります。生涯を共に歩んでいく仲間も得ることができるでしょう。そのような一つひとつの出会いを大切に学生生活を送れば、不安は消え、卒業時には多くの知識とすばらしい経験をたくわえ、豊かな人間性を備えた医療人に成長していることと思います。人生のなかで最も多感な青春時代を、ここ郡山の地で、奥羽大学のキャンパスで謳歌してください。

奥羽大学は、先進の設備、機器を備えた教育環境を整え、教授陣が一丸となって皆さんの希望がかなえられるよう支援することをお誓い申し上げ、告辞といたします。

## 奥羽大学生の新たな旅立ち!オリエンテーションキャンプ開催

入学式の興奮もまだ覚めやらぬ4月6日(金)より、1泊2日の旅程で1年生のオリエンテーションキャンプが実施された。参加者は新入生156名、教職員15名。

昨年度同様、歯学部、薬学部新入生の合同キャンプとなった。これは、医療系大学で進められているinterprofessional education(専門職連携教育)への足がかりとするものだ。

初日、歯学部新入生は新潟県の医の博物館を、薬学部新入生はいわき市のあすか製薬など製薬工場を訪れ、歯学に関する学問の歴史や製薬の現場を肌で学んだ。

その後研修先である裏磐梯レイクリゾートホテルに集合し、歯・薬合同でテーブルを囲んで親睦を図った。両学部生が混じりあった会場は多くの弾んだ声が飛び交っていた。

この2日間で新入生たちは学部の枠を超えた友人も増えたようだ。本キャンプが、両学部生間の連帯感が生まれるきっかけになることが期待される。



### 歯学部新入生オリエンテーション

4月4日(木)入学式終了後、午後1時から第3講義棟332教室で新入生の保護者に対し、菊地尚志学年主任からクラス担任が紹介され、学生相談においては車田文雄カウンセラーから説明があった。

引き続き、授業概要並びに学生生活について瀬川洋学生部長から詳細な説明がなされ、保護者からの質疑応答の対応後、無事終了した。

### 薬学部フレッシュマンウィーク

入学式翌日の4月5日(木)から3日間、薬学部1年生を対象とした集中授業「フレッシュマンウィーク」を実施した。この授業は、大学生として安全かつ有意義な生活を送るために必要な知識・技能・態度を知ること目標としている。学生は、初日に飲酒や喫煙、悪質商法など大学生が被害に遭いやすい社会問題について講義を通じて学び、後半の2日間は歯学部と合同のオリエンテーションキャンプに参加してチームによる課題解決を実践し、その意義を学んだ。

### 薬剤師国家試験ガイダンス

4月6日(金)、新年度の授業開始に先立ち、医学アカデミー薬学ゼミナール仙台教室より講師を招いて薬剤師国家試験ガイダンスを実施した。ガイダンスでは国家試験の最近の傾向やそれに対する有効な対策等の説明があった。写真は新5・6年生を対象としたワンシーンであるが、当日は内容を替えて新2・3年生にも実施した。

学生は皆、熱心に聴き入り、志を新たにしていた。



### 薬学部6年生特別実習中間発表会

6月15日(金)、16日(土)の2日間にわたり、平成30年度特別実習中間発表会が第3講義棟322教室で開催され、薬学部6年生91名が指導教員の下で4年生から取り組んできた研究成果を発表した。今年度も1会場での発表となり、基礎から臨床まで幅広い領域における最先端の知識を皆で共有し、学生・教員を交えて活発な討論が行われた。質疑に対する学生の応答は誠実で準備がしっかりできていることがうかがわれた。

(薬学部 5学年主任 特別実習中間発表会担当 中川直人)



### 「カリキュラムプランニングワークショップ」への参加

#### 歯学部口腔病態解析制御学講座准教授 玉井 利代子

東京慈恵会医科大学で5月5日(土)、6日(日)に開催された日本医学教育学会主催の「一般教養・基礎社会医学系教員のためのカリキュラムプランニングワークショップ」に参加した。日本医学教育学会では、「医学教育専門家」の認定制度をスタートさせている。この認定を受けるためには、履修登録後、3年以内に3つのコースワークを修了する必要がある。修了後にはコースで学んだことを実践して、それを報告することも必要となり、かなり高いハードルとなっている。今回のワークショップへの参加は、コースワーク履修開始のための条件の一つである。

今後、医学教育専門家の認定を目指して学ぶことを本学の理念である「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」ことに役立てていきたいと考えている。

### 歯学部父兄会総会・保護者懇談会

6月9日(土)、歯学部の保護者懇談会が開催された。保護者からは普段の生活の様子や進級基準、CBT・OSCEに関する事など学校全般に関する質問が出され、クラス担任が現況を説明し、学習のアドバイスを行うなど丁寧に回答した。

また、平成30年度歯学部父兄会第1回幹事会ならびに第2回総会が開催された。山崎信也父兄会長を議長として下記の議案を審議し、承認した。

#### 報告事項

- (1) 平成29年度事業報告

#### 審議事項

- (1) 平成30年度の役員選出について
- (2) 平成29年度収支決算(案)について
- (3) 共済基金規程改訂(案)について



### 福島県弓道国体強化選手に選抜されて

#### 薬学部6年 新田真菜

今年の春、福島県の成年女子弓道国体強化選手6人に選抜されました。選抜されたのは今年で3度目、成年女子では最年少でした。4月に選抜されてから、月2回の合宿と合間にある大会や講習会に参加し、技術の向上を図ってきました。大学6年生の今年は、薬学部では毎週月曜日にテストがあるので、週末に練習がある分、その日のことはその日のうちに復習することを心がけています。8月末にある東北総体に向けて一層努力し国体に出場できるよう頑張りたいと思います。



### 薬学部父兄会・保護者懇談会

5月25日(金)、平成30年度薬学部父兄会第1回幹事会及び第2回定時総会が開催された。総会への出席者は73名で、澁川直久父兄会長を議長とした新しい執行部の下、平成30年度役員選出及び平成29年度事業報告並びに収支決算案が審議され、承認された。また、衛藤雅昭薬学部長より、放課後に教員が学内を見廻りながら学生の質問に対応する「教員当直制度」の運用について説明があり、さらに本年8月に薬学部棟1階の現1年生教室と2階の現6年生教室が新たに改装されることなどが報告された。その後行われた学年別懇談会や授業参観でも熱心な意見交換が見られた。



### 歯学部教員研修ワークショップ

歯学部FD委員会による教員研修ワークショップ全体会が、附属病院棟5階臨床講義室で5月11日(金)に開催された。今回は「打倒112」のタイトルで、昨年度に実施された第111回 歯科医師国家試験の必修問題について、本学受験生の解答率が悪い問題を歯学部教員・研修医で分析し、第112回国家試験で必修問題を80%以上正答できる方策を検討した。討議問題は4月中旬に参加者へ配信され、事前に実施された屋根瓦方式SGD(6グループ・23班のスモールグループ討議)の結果が全体会で報告された。SGDでは必修問題の出題の意図、難易度、教育法が検討され、各班の討議のまとめを各グループリーダーが発表した。これにより、本学に不足している必修問題への対策について全教員が認識を深めた。

## 第26回奥羽祭 — 虹 —



板橋 優  
(実行委員長 薬学部3年)

今年の奥羽祭は例年とは異なり6月9日(土)、10日(日)の開催となりました。企画を練る段階から当日まで、“例年通り”とはいかない部分もありましたため、スムーズに事が進まない時が多々あり、多くの方にご迷惑をかけてしまいました。しかし、OB、OGの方々や学生課の皆様、各サークルの皆様、その他数えきれない方々の協力のもと、無事奥羽祭を終了することができました。

来年度は今年度の反省や良かったところなどを生かし、より良い奥羽祭になるよう、引き継ぎたいと思います。

末筆となりますが、第26回奥羽祭をご支援頂いた皆様へ厚く御礼申し上げます。



## 米国毒性学会学術年会

日本毒性学会が企画する派遣事業に採択され、3月にテキサス州サンアントニオのHenry B. Gonzalez Convention Centerで開催された第57回米国毒性学会学術年会に参加しました。学会の指定セミナー NGs Based Technologies Enable Biomarker Development and Discovery in Toxicology は National toxicology program の Alex Merrick によるイントロダクションに始まり、高性能化と低コスト化が進み久しい次世代シーケンサーを活用したバイオマーカー探索として、lncRNA、miRNA、全エクソーム解析、メチル化シトシンに焦点を当てた研究がテーマでした。化学物質投与の実例に加え、Precision Medicine (精密医療) へのパラダイムシフトが印象的でした。この内容は7月に大阪国際会議場で開催される毒性学会生涯教育講習会で報告します。また医薬品安全性に関しては二世世代生殖毒性試験 (OECD-TG416) や拡張一世代生殖毒性試験 (TG443)、機能観察総合評価法 (FOB) のアップデートがあり、米国の医療用大麻の現状 (テキサスは2017年に合法産業化) や地球温暖化に伴うアフラトキシン生息域の範囲拡大、食品中ヒ素のFDAの見解、アフリカ諸国の有害廃棄物の不法投棄の現状など、国内では触れられないテーマが印象的でした。これらは衛生薬学の講義で学生に還元しております。

(薬学部 講師 熊本隆之)



---

### 献体者合同慰霊式・実験動物供養

---

5月31日(木)午後1時から郡山市片平町 霊鷲山常居寺の慰霊碑前にて、奥羽大学合同慰霊式が厳かに執り行われた。合同慰霊式には白菊会会員ならびにご遺族、ご来賓の方々のご臨席を賜り、本学からは清野和夫学長はじめ学部長、教職員および第2学年学生全員が参列した。

式では、本学の教育研究のために献体された尊い御霊に対し、黙祷、霊札納塔の儀の後、学長、学生代表者の哀悼の意と感謝の意が述べられ、続いて参列者全員の献花が行われた。

本学は昭和47年開学の年に初めて献体受領を受け、昭和50年に本学内慰霊碑にて第1回慰霊式が行われた。平成元年に郡山市片平町の常居寺に慰霊碑を移設し、以来この地で毎年慰霊式を開催している。

慰霊式に引き続き、常居寺実験動物供養塔前にて、動物実験研究及び教育に携わる教職員並びに学生が実験動物供養を行った。



献体者合同慰霊式



実験動物供養

---

### 薬剤経済国際学会での発表報告

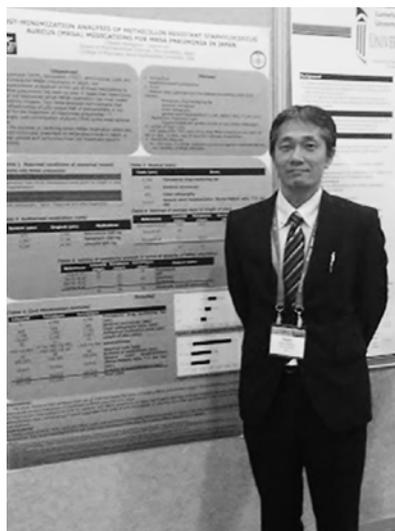
---

5月21日(月)から23日(水)に米国ボルチモアにおいて薬剤経済国際学会 (ISPOR2018) が開催されました。この学会でポスター発表してまいりましたのでご報告いたします。

演題タイトルは「Cost-minimization Analysis of Methicillin Resistant Staphylococcus Aureus (MRSA) Medications for MRSA Pneumonia in Japan (日本でのMRSA肺炎治療に用いる薬剤の費用最小化分析)」です。

日本からの演題発表は私だけでした。医療財政がひっ迫している昨今ではありますが、薬剤経済に関する研究が日本ではまだ乏しいのが現状です。欧米ではよく研究されている分野ですが、医療保険が国ごとに異なるため、その報告の結果を日本に当てはめることは容易ではありません。よって、日本の現状に即した検討が必要です。実績を重ねていき、費用対効果の高い治療法を提示していきたいと思っております。

(薬学部 医療薬学分野 教授 中川直人)



## 日本口腔科学会・日本口腔外科学会開催

6月2日(土)、3日(日)、本学第2講義棟にて、第56回日本口腔科学会北日本地方部会、第44回日本口腔外科学会北日本支部学術集会が高田訓大会長のもと開催された。「診る、聴く、学ぶ」をテーマに、活発な討議が行われた。本学薬学部教授大島光宏先生による「歯周炎とインプラント周囲炎の原因細胞が異なる可能性」と題した特別講演、総合南東北病院頭頸部画像診断センター長中里龍彦先生による「頭頸部動注化学療法における腫瘍栄養血管と留意点」と題したリフレッシュセミナーも行われた。6月2日(土)には郡山ビューホテルアネックスにて懇親会も開催され、多数の会員が参加した。登録演題数は70演題、参加者は延べ400名余りと盛況であった。

(歯学部 講師 御代田駿)



## エッセン市訪日派遣団来校

4月26日(木)、郡山市と再生可能エネルギー分野及び医療機器産業分野で「都市間協力に関する覚書」を締結し、国際都市関連プログラムで来郡したドイツ連邦共和国エッセン市の4名の訪日派遣団と随員の7名の県及び市の担当職員が本学を視察に訪れた。

本学からは、清野和夫学長、清浦有祐研究科長、山崎信也歯学部教授国際交流担当、中川直人薬学部教授及び齋藤高弘事務局長が意見交換に臨んだ。

1時間と短い時間であったが本学の沿革説明の後に、フリーディスカッション形式で質疑応答がなされ、活発な意見交換が行われた。

これを機に本学とエッセン市の医療分野での協力が進むことを期待したい。



## 京橋歯科警察医会創立20周年記念式典で講演

5月11日(金)、銀座ブロッサムにて東京都中央区京橋歯科警察医会創立20周年記念式典が開催され、生体構造学講座法歯学の花岡洋一教授による記念講演が開催された。

式典終了後、矢田美英中央区長、区内4警察署署長、3消防署長らの臨席を得て祝賀会が開催され、花岡洋一教授に長年の功績に対して中央区京橋歯科警察医会 片山隆会長より感謝状が手渡された。



写真中央が花岡洋一教授

## 奥羽大 now

### 国産茶葉を使用して『紅茶テアフラビン』を製品化 福島と北海道と静岡がコラボ 科学技術振興機構「地域結集型研究開発プログラム」 (奥羽大学薬学部)の研究成果を事業化

本学薬学部竹元万壽美教授は紅茶テアフラビン類の製法等、特許10件を権利化した後、平成21年～平成25年 独立行政法人 科学技術振興機構の地域結集型研究開発プログラム「静岡発世界を結ぶ新世代飲料と素材の開発」にて、テアフラビン等に関する機能性研究(奥羽大学薬学部、静岡県立大学薬学部、北里大学薬学部との共同研究)を行った。特に奥羽大学薬学部では本学倫理委員会の審査を経て、テアフラビンのヒト介入試験を行い、血糖値上昇抑制作用、疲労度改善効果が認められ、2編の論文が日本薬学会欧文誌 Biol. Pharm. Bull に採択された。平成22年以降、竹元教授と北海道の横山食品(株)との間でテアフラビンに関する製品開発が行われ、第一弾製品として横山食品(株)より平成30年4月企業向けを対象とした「テアフラビンパウダー TY-1」が発売された。平成30年4月24日(火)、札幌商工会議所北海道経済センターで「テアフラビンパウダー TY-1」に関するプレス発表会を行い、テレビ北海道「ゆうがたサテライト」で放映、6社の新聞記事に掲載される等反響を呼んだ。本年9月には一般消費者向けテアフラビンが発売される予定である。

テアフラビン：高級紅茶に含まれる主成分でカテキン以上の機能性があるため「スーパーカテキン」とも呼ばれる。世界中の研究者による動物実験、細胞実験、疫学調査により内臓脂肪沈着抑制、抗肥満、抗がん作用、抗炎症効果、抗ウイルス効果、抗菌性、骨粗鬆症の予防効果、抗歯周病などの様々な効果が、ヒト試験では血糖値上昇抑制効果、疲労度改善効果が報告されている。[M.Takemoto, H. Takemoto, Synthesis of theaflavins and their functions. Molecules, 23, 918-935 (2018).]しかしながら、紅茶からのテアフラビン摂取は微量のため事実上不可能であった。

(薬学部 教授 竹元万壽美)



プレス発表会(左：横山食品社長 右：竹元教授)



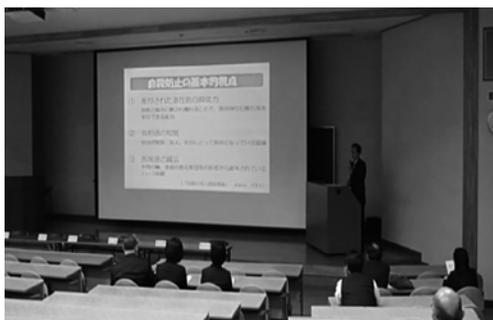
横山食品との共同開発テアフラビンパウダーTY-1とマスコットキャラクター：tiful

## FD・SD研修会

本学における教職員の教育研究活動及び事務の向上や質的充実を図ることを目的としたFD・SD研修会が5月14日(月)、第2講義棟において開催された。

今回のテーマは「学生に対する厚生 (Welfare) と補導 (Guidance) の方針と実態について」。

口腔衛生学の車田文雄准教授より、本学学生相談室の相談内容の実態、ネットワークビジネスをはじめとした学生を取り巻く諸問題、教職員の学生への対応方法についての講演があった。



## 学生の「推し本」コーナー設置

本学図書館にこのほど、「学生の『推し本』」コーナーが設置された。このコーナーには、ビブリオバトル全国大会で紹介された本が約30冊並んでいる。ビブリオバトルとは、学生が自分の好きな本をプレゼンし、どの本が一番読みたくなかったかを競う大会である。全国の大学生が選んだ、あなたの「推し本」を探してみたいかだろうか。

さらに、2018年本屋大賞にノミネートされた全13作品(翻訳本含む)のコーナーも新たに設けられた。全国の書店員がお薦めする話題の本が一堂にそろっているの、ぜひ利用し活字に触れていただきたい。



## 平成30年度大学院入学式

平成30年度大学院入学式が4月4日(水)午後2時から、附属病院棟5階 第3会議室で挙行された。式では、新入生9名が呼名され、清野和夫学長より入学が許可された。

続いて学長より、大学院における研究活動の意義とあくなき探求心、大学院生としての心構えについて告辞が述べられた。



## 第1回大学院特別研修セミナー

第1回大学院特別研修セミナーが4月27日(金)午後5時40分から第3講義棟332教室で開催された。「10万個の子宮とワクチン」と題して京都大学大学院医学研究科非常勤講師でジャーナリストの村中璃子氏が講演を行った。

子宮頸部癌ワクチン接種が日本で停滞している現状とその理由について、ジャーナリストとしての活動に基づいた説明があった。このワクチンの薬害報道が、研究倫理上多くの問題点を有する研究に立脚していたことは、正しい研究倫理に則った研究活動の重要性を再認識させられるものであった。また、科学的な根拠に基づかない恣意的な報道が国民の健康を阻害する危険性もよく理解でき、研究倫理・研究不正防止セミナーとしても極めて有意義なものであった。当日は、歯学部教員、薬学部教員及び大学院生の計173名が参加した。







## 調べる楽しさ、広がる空想

事務局長 齋藤高弘

趣味らしきものがない私ですが、ある方から漢方薬の入った薬方紙が30袋以上見つかり、そこに「智 楡」「智 菖」「仁 葵」「仁 栲」「勇 龜」などの文字が書かれ、皆目見当がつかないので調べてほしいとの話がありました。早速、図書館で漢字の意味と和漢辞典で薬草等の名前を調べました。「智 楡」や「仁 葵」などと記載されている漢方薬は存在せず、下段の「楡」「菖」などが確かに漢方薬の原料とされるものでしたが全てを特定するには至りませんでした。

上段の「智」「仁」「勇」の手がかりをネット検索すると、「論語」の儒学の三徳のことで、「智の人は惑わず、仁の人は憂えず、勇の人は恐れぬ」とあり、ある大学ではそれを基本理念として「何が正しいかを識（さと）り、相手の立場になって考えられる慈愛の心を持てば、惑わされることなく、憂えることなく、勇気をもって信念を貫くことができ、この三徳を根本理念として医学教育を推し進め、医学、医療、社会へ貢献します」との説明がありました。

話は飛びますが、三徳の三からあることを思い出しました。記念講堂前広場の「青春の群像」の三体についてです。三十周年記念誌によると「第一像（正面）：広げられた手：万物のすべての可能性を迎えられる知性と英知を包括した表現」「第二像（右面）：上に伸びる手：人間的な動の世界で、自然との対話を表現」「第三像（左面）：手で作る円：無限の世界に飛び出す未来の力を表現」と書かれています。この像の表現や本学の理念である「人間性豊かな人材の育成」も広義の三徳に通じるのではないのでしょうか。

蛇足ですが、三体の像の手の方向とかたちを今一度よく見てください。正面像は手を左右に広げた「T」字、左面像は指が頭上で少し左に触れた「D」字、右面像は手が肩より少し外に向いて伸びた「U」字に見えないでしょうか。我が母校の前身である「Tohoku Dental University」のTDU（東北歯科大学）を表したとも言われています。

漢方薬の調べから三徳、三徳から奥羽大学「青春の群像」と話が迷路に入ってしまったのですが、本題の薬包紙の文字の解明はお手上げ状態ですので識者にお任せしました。

好奇心を持ち、完結を望まず、中途半端を「よし」とする気持ちが、調べる楽しさとその先の想像や空想を掻き立て、現実のストレスを緩和する至福のひとつと感じています。



## 仙台国際ハーフマラソンに救護班で参加

本年度も、5月13日(日)に仙台市で行われた第28回仙台国際ハーフマラソンに、本学のライフサポート部が救護班で参加した。1万人を越えるランナーが参加したため、ゴール付近では脱水などの合併症で倒れるランナーも数多く、ゴール前の救護所では大忙しであった。



## 附属病院

### 登院式

4月2日(月)、附属病院5階臨床講義室において、本年度の登院式が挙行された。52名の臨床実習生が順に呼名された後、杉田俊博病院長より訓示があった。

臨床実習は患者さんを相手にする実習であり、今までの模型実習とは異なることや、臨床の見学だけではなく、現在から歯科医師国家試験を見据えた学習が必要であることが述べられ、臨床実習生代表の鹿内陽樹さんが有意義な臨床実習となるよう努力する旨の宣誓し、全員が真摯に受け止めていた。

### 歯科医師臨床研修開始式

本年度歯科医師臨床研修開始式が4月2日(月)に挙行された。単独型研修プログラムAを選択した11名、地域医療短期プログラムBを選択した9名、地域医療長期プログラムCを選択した3名の計23名が研修開始を許可された。

研修歯科医は、附属病院または協力型研修施設にて、将来専門とする分野にかかわらず歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識し、さらに多様な患者背景に配慮した基本的な診療に対応出来る歯科医師となるべく、生涯研修の第一歩を踏み出した。



### 自衛消防訓練

本年度第1回目の自衛消防訓練が6月12日(火)に実施された。

附属病院4階総合歯科診療室付近から火災が発生し、5階に2名逃げ遅れた者がいるという想定に基づき119番通報、初期消火、避難誘導等の訓練を行った。救助袋を使用した避難訓練には参加者が積極的に参加し、屋内消火栓を使用した消火訓練もあわせ、新入教職員をはじめ50名を超える参加者は、みな真剣な面持ちで臨んでいた。



### 歯科医師臨床研修管理委員会

5月19日(土)、郡山ビューホテルにて「平成30年度第1回歯科医師臨床研修管理委員会」が開催され、今年度の研修プログラムや研修内容、修了認定基準などの説明があった。研修会では本院で導入している新しい研修管理システム「e-logbookについて」と題した講演が、セミナーでは2021年度に向けた「新たな歯科医師臨床研修の到達目標について」と題した講演がそれぞれ行われた。



## 歯学部研究紹介

細胞外ガレクチン-1による *Porphyromonas gingivalis* の  
口腔上皮細胞への接着および侵入促進

歯学部口腔病態解析制御学講座 准教授 玉井 利代子

C型レクチン受容体的一种であるガレクチンは、細菌や真菌の細胞壁に含まれる糖に結合して、殺菌作用を示すこともあれば、宿主細胞への侵入を促進することもある。ガレクチン-1とガレクチン-3は、上皮細胞、内皮細胞、活性化マクロファージ、活性化B細胞、活性化T細胞など様々な細胞によって分泌されるが、異なる役割を担う。本研究では、細胞外ガレクチン-1は、歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* の宿主細胞への侵入を増加させた。細胞膜にみられる脂質ラフト成分の一つであるGM1 ガングリオシドは、ガレクチン-1と相互作用し、 $\beta 1$  インテグリンと脂質ラフト依存性エンドサイトーシスの活性化を誘導する。故に、脂質ラフトは、ガレクチン-1による *P.gingivalis* の宿主細胞侵入増加において重要な役割を果たす可能性がある。一方、ガレクチン-3を先に *P.gingivalis* に結合させても歯肉癌上皮細胞への接着および侵入を促進しないことを示した。ガレクチン-3は、単球およびヒト単球 THP-1 細胞への髄膜炎菌の接着を増加させるが、髄膜炎菌による両細胞の侵入を増加しないことが報告されている。したがって、ガレクチン-3は様々な微生物と結合し、宿主を生物から保護し、宿主細胞への感染を促進しない可能性がある。実際、ガレクチン-3は、炎症応答を増強し、カンジダを死滅させることによって、播種性カンジダ症に対する保護において重要な役割を果たす。本研究では、ガレクチン-1は、宿主細胞の細菌侵入を促進することによってグラム陰性細菌の感染性疾患を悪化させるが、ガレクチン-3は、病原体を結合することによって宿主を感染から防御する可能性を示唆した。

Canadian Journal of Microbiology Vol.64 Number 7

研究費用の一部は日本学術振興会から受けた科学研究費補助金基盤研究(C)でまかなわれている。

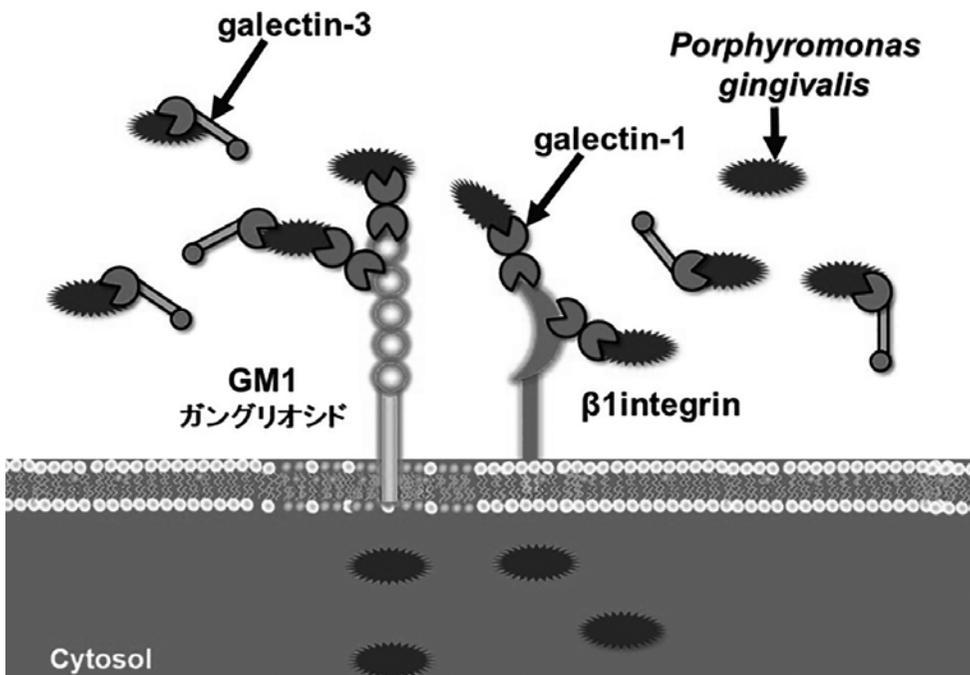


図. 細胞外ガレクチン-1は、歯周病原細菌の上皮細胞への接着を増加する

## 薬学部研究紹介

## 金属を介した核酸塩基対の構造 / 物性 / 応用

薬学部 物理化学分野 助教 大樂 武範

今日では、DNA合成技術が確立され、任意の正確な塩基配列をもつDNA分子を化学的に合成することができます。DNAの特定残基のみを部位特異的に化学修飾することも可能です。これらの合成技術の発展に伴い、“DNAをデザインして”機能性分子開発へ応用する研究が展開されてきました。

今回私が紹介する研究は、金属を介して形成される核酸塩基対（メタロ塩基対）の研究です。DNA中のチミン-チミンミスマッチ（T-T）は $\text{Hg}^{2+}$ イオンを補足し、水銀を介したT-HgII-T塩基対を形成します（Figure 1, (a)）。一方、DNA中のシトシン-シトシンミスマッチは、 $\text{Ag}^+$ イオンを補足し、銀を介したC-AgI-C塩基対を形成します（Figure 1, (b)）。

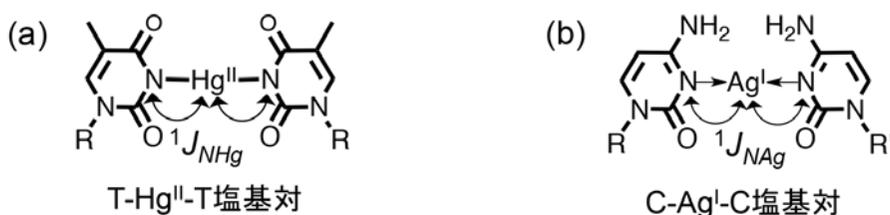


Figure 1. メタロ塩基対の化学構造

多核NMR分光法を用いた構造解析において、これらのメタロ塩基対中の化学結合の存在が直接証明されました（Figure 1; (a) Chem. Commun. 2015, 51, 8488-8491. (b) Chem. Eur. J. 2016, 22, 13028-13031.）。

T-HgII-TやC-AgI-C塩基対形成を利用した応用研究として、 $\text{Hg}^{2+}$ イオンや $\text{Ag}^+$ イオンを検出する分子センサーや、環境中の $\text{Hg}^{2+}$ イオンを補足する水銀トラップ剤などの機能性分子が開発されています。現在、当研究室においても、公益財団法人日本化学研究会の助成をもとに、電気化学的なアプローチを利用したメタロ塩基対の新たなアプリケーション開発に取り組んでいます。

さらに、他大学との共同研究において、C-AgI-Cおよび他の銀を介するメタロ塩基対のみから構成される“DNA-銀ハイブリッドナノワイヤー”の結晶構造を報告しています（Nat. Chem. 2017, 9, 956-960.）。メタロ塩基対形成を利用して金属原子をDNAの二重らせん軸上に並べた新規分子種（DNA-銀ハイブリッドナノワイヤー）は、導電性を示す可能性があり、将来的には分子導線やナノサイズの集積回路の開発などへの応用が期待されています。

## 学校法人晴川学舎 平成29年度決算報告

### 1. 資金収支計算書

(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,358,750,000	2,178,300,800	180,449,200
	補助金収入	263,363,000	496,329,000	△ 232,966,000
	その他の収入	880,415,000	960,398,900	△ 79,983,900
	前年度繰越支払資金	1,664,251,638	1,664,251,638	
	収入の部合計	5,166,779,638	5,299,280,338	△ 132,500,700
支出の部	人件費支出	2,348,401,000	2,230,942,225	117,458,775
	教育研究経費支出	1,384,290,000	1,118,208,077	266,081,923
	その他の支出	865,891,000	716,884,959	149,006,041
	翌年度繰越支払資金	568,197,638	1,233,245,077	△ 665,047,439
	支出の部合計	5,166,779,638	5,299,280,338	△ 132,500,700

### 2. 事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	2,358,750,000	2,178,300,800	180,449,200
	補助金	263,363,000	496,329,000	△ 232,966,000
	その他の収入	814,577,000	814,665,694	△ 88,694
	教育活動収入計	3,436,690,000	3,489,295,494	△ 52,605,494
	事業活動支出の部			
	人件費	2,317,202,000	2,224,496,185	92,705,815
	教育研究経費	1,909,755,000	1,584,522,748	325,232,252
	その他の支出	397,848,304	387,024,381	10,823,923
	教育活動支出計	4,624,805,304	4,196,043,314	428,761,990
教育活動収支差額	△ 1,188,115,304	△ 706,747,820	△ 481,367,484	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金、その他収入	26,655,000	34,132,693	△ 7,477,693
	教育活動外収入計	26,655,000	34,132,693	△ 7,477,693
	事業活動支出の部			
	借入金等利息、その他支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	26,655,000	34,132,693	△ 7,477,693	
経常収支差額	△ 1,161,460,304	△ 672,615,127	△ 488,845,177	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額、その他収入	0	1,638,711	△ 1,638,711
	特別収入計	0	1,638,711	△ 1,638,711
	事業活動支出の部			
	資産処分差額、その他支出	1	1	0
	特別支出計	1	1	0
特別収支差額	△ 1	1,638,710	△ 1,638,711	
[予備費]	(5,873,305)			
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,205,587,000	△ 670,976,417	△ 534,610,583	

3. 貸借対照表

(単位:円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	31,131,421,586	31,516,715,934	△ 385,294,348
	有形固定資産	9,823,750,336	10,203,726,416	△ 379,976,080
	土地	1,692,522,001	1,687,228,194	5,293,807
	建物	5,155,412,524	5,466,555,015	△ 311,142,491
	教育研究用備品・図書他	2,975,815,811	3,049,943,207	△ 74,127,396
	特定資産	21,294,804,602	21,300,000,002	△ 5,195,400
	減価償却引当特定資産	11,720,922,979	11,720,672,979	250,000
	第2号基本金引当特定資産他	9,573,881,623	9,579,327,023	△ 5,445,400
	その他の固定資産	12,866,648	12,989,516	△ 122,868
	流動資産	3,458,940,514	3,643,995,511	△ 185,054,997
	現金預金	1,233,245,077	1,664,251,638	△ 431,006,561
	未収入金他	2,225,695,437	1,979,743,873	245,951,564
	資産の部合計	34,590,362,100	35,160,711,445	△ 570,349,345
負債の部	固定負債	1,112,397,068	1,124,740,450	△ 12,343,382
	長期未払金	0	5,897,342	△ 5,897,342
	退職給与引当金	1,112,397,068	1,118,843,108	△ 6,446,040
	流動負債	619,215,146	506,244,692	112,970,454
	未払金	220,476,188	143,178,448	77,297,740
	前受金他	398,738,958	363,066,244	35,672,714
負債の部合計	1,731,612,214	1,630,985,142	100,627,072	
純資産の部	基本金	30,744,675,140	31,345,103,978	△ 600,428,838
	繰越収支差額	2,114,074,746	2,184,622,325	△ 70,547,579
	純資産の部合計	32,858,749,886	33,529,726,303	△ 670,976,417
負債及び純資産の部合計		34,590,362,100	35,160,711,445	△ 570,349,345

キャンパスの  
風景

キャンパスの安積疏水

知りませんでした。キャンパスのど真ん中を地下トンネルで2本の用水が流れているんですって。1本は猪苗代湖からはるばるやってきた、薬学部棟裏の安積疏水です。途中で暗渠（地下トンネル）に入り、記念講堂前を地下トンネルで通り、動物実験研究施設そばの竹やぶの高台（滝の上）に突然顔を出し、附属病院棟、講義棟の裏を行徳小学校の方向へ流れて行きます。

もう1本は駐車場とテニスコートの間を流れる一般河川扱いの水路です。桜の花が見事に咲くところです。逆池から流れてくるようです。これも道路をくぐり、学生食堂ハーモニーそばから地下をくぐって、善宝池の方へ流れて行きます。

2本の水路は地下で交差していますが、どのあたりかは分かりません。ちょっと覗いてみたいですね。(A)



写真(左) 薬学部棟裏の安積疏水 フェンスで囲った集水桝から地下トンネルへ  
写真(右) 歯学部病院棟裏の安積疏水

## 新任教授紹介



薬学部 機能形態学分野  
教授 守屋 孝洋

本年4月1日付で、薬学部（機能形態学担当）教授を拝命いたしました。昨年度までは東北大学大学院薬学研究科において薬学教育・研究に従事し、創薬研究者や薬剤師を目指す大学院生・学部生の教育・指導にあたって参りました。教育面におきましては、これまで私は薬理学や機能形態学などの基礎学問を担当し、「からだの仕組み」や「くすりが効果をあらわす仕組み」に対して学生さんが面白いと思ってもらえるような授業・実習となるように心がけてきました。何よりも「興味」が勉学の最大の力になると思われますが、そのためには私自身も努力・精進して、最新の知見を学び、教員としてのスキルを高めていきたいと考えております。研究面におきましては、専門の体内時計研究を發展させ、オリジナリティの高い研究をしていきたいと考えております。新しい職場にチャレンジする際には大きな希望と若干の不安を伴いますが、御衣黄桜の咲く奥羽大学の美しいキャンパスの中で、奥羽大学の教育・研究に貢献していく所存です。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



薬学部 衛生薬学分野  
教授 佐久間 勉

本年4月より薬学部で衛生薬学分野を担当しております佐久間勉と申します。富山からやってきましたが、生まれは山形県鶴岡市です。朝、目覚めてラジオをつけると幼い頃から聞き馴染んだ東北各地の地名が聞こえてきます。ようやく故郷の近くに帰ってきたと感傷にひたっています。

これまで主に薬物代謝酵素の研究を行って参りました。中でも発現調節機構に興味を抱いており、異物による発現誘導や性依存的発現の解析をしています。薬物代謝の研究は、大学4年生の時に思いがけず所属が決まった研究室で出会ったものでしたが、思いのほか興味深かくこれ30年程続けています。

「奥羽」という言葉には郷土史家である父を介した縁も感じています。目に見えない力に導かれ縁あって奥羽大学に迎えて頂く事ができました。身に余る大役に日々緊張の連続ですが、本学の發展並びに学生諸氏の夢の実現に向け誠心誠意勤める所存です。皆様のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 同窓生のひろば



荻野 久(歯学部7期生)

私は現在、山梨で開業し自立支援医療と小児慢性特定疾病の指定医療機関の指定を受け唇顎口蓋裂の治療とその合併症を伴ったシンドロームの患児たちを診ています。

今回その患児の家族会についてご紹介したいと思います。

この疾患は自立支援医療の対象で出生率は500～700人に一人、当院には年間12人前後が来院します。出生後はホット床やNAMといった哺乳補助装置を装着します。4～6カ月で口唇形成術、1歳6カ月前後で口蓋形成術、その後言語治療や真珠性中耳炎の治療のためチューピングをします。7歳前後から歯列弓を拡大し顎裂部には骨移植を実施し、永久歯列期にマルチブラケット装置にて歯列配列します。保定は17歳ごろでリテーナーや永久固定をします。さらに鼻口唇形成術や残孔の閉鎖術をして治療が終了します。大学病院等では出生時に産婦人科、その後、形成外科、口腔外科、耳鼻科、矯正歯科、言語といったチームアプローチが可能ですが山梨ではそのような環境は整っていません。

患児のお母さんは出産時に「なせうちの子が」、「これからどうしよう」という思いでいっぱいです。この時から家族の方には心のケア、患児には治療が必要になってきます。ある日一人のお母さまから患児と家族のためにいつどんな治療が必要なのか一度お話をしてもらえないかと依頼され協力することになりました。患児の家族会は「クローバーの会」といいます。クローバーの会は患児を持つ家族同士が集まり不安や悩みの相談会や治療に関する情報を交換するために発足しました。第一回は「唇顎口蓋裂とは」と題して私と奥羽大学元病院長山口敏夫先生、聖隷クリストファー大学元教授長谷川賢一先生の3人で講演をしました。今では年に1回の研修会と会報の発行、子供の言葉の相談会やふれあいの場を開催しています。また、県の福祉課や保健所の担当者に連絡し研修会に参加していただいています。私も各医療機関に直接連絡して協力を願ったり、言語聴覚士会や研修会で講演をさせていただきました。その結果、各医療機関、行政機関には次の患児のため「唇顎口蓋裂の治療の概要」を記載したパンフレットも設置していただけることになりました。

この会も発足して今年で9年目になりました。今後は一般の方にもこの疾患を理解していただき活動範囲が広まることを願って協力していきたいと考えています。



#### 菱川 龍樹(歯学部31期生)

こんにちは。歯科医師11年目の31期の菱川龍樹と申します。

現在は北海道で奥羽大学歯学部北海道同窓会の広報理事をしております。

この度は、僭越ながら北海道同窓会を代表して執筆させていただきます。

私は現在、札幌市内で勤務医をしており、一般診療のほか、往診も行い、最近では、同窓7期の吉田博志先生の元でインプラントも学んでいます。

北海道大学で臨床にて博士号を取得後、2年ほど医員として大学病院で勤務を行い、大学病院退職後、現在のところは、ライフワークバランスを考え、仕事と生活のバランスを重要視しながら適度な仕事量で収入を得ながら子育てと仕事を両立させています。(将来的には状況を見ながら開業も視野に入れている。開業するとしたら札幌で。札幌という地区は歯科激戦区であり、開業のタイミングを見合わせている状況でもある。)

子供は現在、息子1人(2才)と、今秋に第二子が誕生予定です。育児は大変ではありますが、楽しく行っています。子育てを通じて、我慢強さ、忍耐力といった精神面で自分も成長しているように感じます。

最近では、職業を通じて交友関係も少しずつ広がり、歯科医以外でも、異業種(医師、弁護士、社長、起業家などの経済人)と接する機会が増えました。異業種の人達と繋がって、人の輪が広がって行くことに、最近生き甲斐を感じているこの頃です。

休みの日は、子育てのほかに、読書や近所の川沿をジョギングしたり、学生時代の部活の延長で、趣味の筋トレを自宅、ジムなどで行なっています。筋トレは、健康増進にもつながり、その成果が目に見えて身体に形造られていくので面白い。本は、特に最近では、雑学の内容のものや、実用書が好みであり、暇を見つけては読み漁っています。読むほどに、多分野の世界観が広がって行き、こちらもとても面白い。

最近考えていることとしては、歯科医業を行いな

がら、広い視点で見た自身の人生のライフワークとは何かを考えおり、現在模索中です。自分に出来ること、自分にしかできないこと、何か自身の生きた形跡を、かたちとして世の中に残せたらいいな、と最近考えはじめています。そんなことを考えながらも、今日を大切に生きていこうと考えております。



#### 本多 真史

(文学部日本語日本文学科8期生)

#### 黎明や友より届く梅便り

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

時が経つのは早いもので、本学を卒業してから18年の月日が流れました。今でもふとしたときに、学生時代のことを思い出します。

あの頃、文学部棟は、1500名を超える学生で溢れていました。とりわけ、日本語日本文学科には、いわゆる「本の虫」たちが多く集っていました。そこでは、自分の専門分野の研究に限らず、『万葉集』、『宇治拾遺物語』、『雨月物語』、『檸檬』などを深く味わいつつ、幅広く、研究の基礎を学びました。

卒業論文執筆の際、指導教員である堀尾香代子先生から、「文学部で得た知識・教養・技能などは、形になって表れることが多くなく、人間の心の『内なる変化』をもたらすものです」とのお言葉をいただいたことがあります。

文学部で学んだことを生かし、現在、教壇に立って活躍している方がいる一方で、それとは関係のない世界で活躍している方もいるとうかがっています。現実の姿として、文学部は消えてしまいましたが、卒業生の胸中には、本学で学んだ「ある種の人間学」が深く根付いているはずで、そのことを思い出し、時として、社会で活かしてほしいと願っています。

#### 初蛙吾妻小富士を背負ひたる

卒業してからの18年の間、私は日本語学(国語学)を専攻し、研究を続けてきました。その間、多くの紆余曲折がありました。

本学卒業後、他大学の大学院にて、主に「関東・東北方言の接触地帯における地理的・年齢的言語伝播相の調査研究」を行ってきました。豊富な資料に裏打ちされた論考が全国学会でも高く評価され、平成23年には、「博士(日本文学)」の学位を取得しました。

また、研究者として歩む一方で、福島県立原町高等学校、日本大学東北高等学校などに勤務し、高等教育にも携わってきました。「わかりやすい授業、親しみやすい教材、話しやすい教員」を常に心がけ、これまでの研究活動によって培われた専門的な知識や日本語学における最新の情報をベースとし、大学受験指導に重点を置いた授業を展開してきました。

この他、高等学校での現場経験を活かし、全国の高校生が使用する問題集等の執筆・編集にも携わりました。『課題ノート』(教育出版)、『錬成 現代文』(尚文出版)を手掛けたことを皮切りに、平成29年には、単著『キーワードの卵』(尚文出版)を世に送り出しました。

高等学校に勤務しつつ、日本語の研究を続けるのは容易ではありませんでしたが、大学時代に所属していたウィンドサーフィン部の皆さま、同学科の友人たち、家族などに支えられ、励まされて、何とか乗り切ることが出来ました。現在の私があるのは、「これまでに会った人々の温情によるもの」に他なりません。

**相づちの少し遅れて鶴来たる**

平成29年より、本学にて、日本語学を専門科目として学生に教えるという幸運を授かりました。現在、私は歯学部教員として、医療現場におけるコミュニケーション関係の科目を担当しています。

医療現場では、医師-患者間のみならず、様々な場面において、円滑なコミュニケーションによって信頼関係を築くことが求められています。このコミュニケーションの技能は、幅広い教養、他人に対する思いやり、正確かつ適切な日本語運用など、本学の建学理念「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」に通じるものがあります。

福島大学方言研究センター客員准教授として、「東日本大震災において危機的状況が危惧される方言の実態に関する調査研究」に携わった際、調査に協力してくれたある女性が、「皆さんと話すことで元気になった」と笑顔を見せてくれました。

これまでの面接調査、傾聴支援活動等によって培われた経験を生かしつつ、医療との接点を模索し、新しい方法をも取り入れて、工夫された授業を展開していきたいと考えています。

微力ではありますが、母校である奥羽大学、さらには故郷である福島県に恩返しができるれば幸いです。

**人 事**

<任用>

松本 知生	講 師	歯科補綴学	4月1日付
斎藤 昇太郎	〃	生体材料学	〃
南 健太郎	〃	口腔衛生学	〃
角田 隆太郎	〃	口腔外科学	〃
岡 志央	助 手	成長発育歯学	〃
根津 允	〃	〃	〃
三宅 茉麻	〃	〃	〃
勝田 拓磨	〃	附属病院	〃
北原 海	〃	〃	〃
小鷲 啓典	〃	〃	〃
小渡 部 謙	〃	〃	〃
河村 享英	〃	〃	〃
宗形 真希	〃	〃	〃
川崎 力才	〃	〃	〃
神林 直大	〃	〃	〃
橘高 あずさ	〃	〃	〃
佐藤 璃奈	〃	〃	〃
森山 光裕	〃	〃	〃
田中 康雄	〃	〃	〃
舟山 敦雄	〃	〃	〃
入澤 正晃	〃	〃	〃
小松 憲明	〃	〃	〃
土鈴 海路	〃	〃	〃
土屋 和美	〃	〃	〃
宮嶋 唯	〃	〃	〃
向井 雄一郎	〃	〃	〃
渡邊 聡	〃	〃	〃
梅村 浩二郎	〃	〃	〃
佐久間 勉	教 授	薬 学 部	〃
守屋 孝洋	〃	〃	〃
古泉 博之	准 教 授	〃	〃
杉野 雅浩	講 師	〃	〃
小田 中 啓太	助 教	〃	〃

<昇任>

板橋 仁	新 准 教 授	旧 講 師	4月1日付
双石 博之	成長発育歯学 助 手	成長発育歯学 助 手	〃
佐藤 知哉	成長発育歯学 助 手	成長発育歯学 助 手	〃
北林 治彦	生体構造学 助 手	生体構造学 助 手	〃
酒井 悠輔	附属病院	附属病院	〃
内山 梨夏	〃	〃	〃
佐藤 光	〃	〃	〃
渡部 由子	〃	〃	〃
伊藤 鍛	教 授	准 教 授	〃
伊藤 頼位	薬 学 部	薬 学 部	〃
大原 宏司	准 教 授	講 師	〃
金原 淳	薬 学 部	薬 学 部	〃
吉田 健太郎	薬 学 部	薬 学 部	〃
熊谷 文哉	助 教	助 手	〃

<再任用>		新	旧	
伊東	博司	教授 口腔病態解析制御学	教授 口腔病態解析制御学	4月1日付
瀬川	洋	教授 口腔衛生学	教授 口腔衛生学	〃
佐藤	穂子	講師 歯科保存学	講師 歯科保存学	〃
竜	立雄	講師 成長発育歯学	講師 成長発育歯学	〃
細谷	尚史	〃	〃	〃
永山	道代	〃	〃	〃
鈴木	敏城	講師 心理学	講師 心理学	〃
神庭	一郎	助 附属病院	助 附属病院	〃
雨宮	幹樹	〃	〃	〃
五十嵐	一彰	〃	〃	〃
大友	悠資	〃	〃	〃
奈田	憲二	〃	〃	〃
神庭	優衣	〃	〃	〃
渡部	剛史	助 放射線診断学	助 放射線診断学	〃
花岡	洋一	教授 生体構造学	教授 生体構造学	〃
青木	薫	准教授 生体材料学	准教授 生体材料学	〃
結城	昌子	講師 口腔衛生学	講師 口腔衛生学	〃
小池	勇一	薬学部	薬学部	〃
早坂	正孝	〃	〃	〃
井上	忠夫	〃	〃	〃
中村	郁子	〃	〃	〃
山本	正雅	〃	〃	〃

<昇格>		新	旧	
國分	真由美	看護師主任 病院医療部	看護師 病院医療部	4月1日付
本名	一美	〃	〃	〃
渡邊	明日香	歯科衛生士主任 病院医療部	歯科衛生士 病院医療部	〃
田村	むつみ	主任 総務部	事務職員 総務部	〃

<採用>		新	旧	
鈴木	貴子	事務職員 病院事務部	契約職員 事務局	4月1日付
大森	陽香里	歯科衛生士 病院医療部	〃	〃
大山	桃茄	〃	〃	〃
竹山	萌	〃	〃	〃
益成	秀治	歯科技工士 病院医療部	〃	〃

鈴木	理恵	看護師 病院医療部	5月15日付
鈴木	佐津喜	准看護師 病院医療部	6月1日付
佐藤	洋子	看護師 病院医療部	〃

<再雇用>				
齋藤	高弘	事務局長	事務局	4月1日付
佐藤	安宏	課長補佐	総務部	〃
田卷	勝幸	警備職員	〃	〃
原田	清子	労働職員	〃	〃
宇佐見	正	技術主任	歯学部学事部	〃
榊原	直文	課長	薬学部学事部	〃
佐藤	道子	事務職員	〃	〃
小林	康修	歯科技工士長	病院医療部	〃
御代田	明彦	歯科技工士係長	〃	〃
円谷	敦子	事務職員	病院事務部	〃
萩原	利男	部長	財務部	6月1日付
中葉	和義	事務	病院事務部	〃
佐藤	和義	部長	薬学部学事部	〃

<退職>				
横田	理	助教	薬学部	4月30日付
国分	大樹	技術職員	総務部	5月30日付

— お詫びと訂正 —

奥羽大学報前号(第157号)の記事「卒業記念贈呈式」(p.5)で、薬学部代表の「石川隆寛さん」とあるのは、「今橋良太さん」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

(学報編集委員会)

奥羽大学報158号(通算No.283)平成30年6月18日発行  
 発行 奥羽大学  
 学報編集委員会  
 委員長 清野和夫

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
 電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372  
 ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
 メールアドレス [info@ohu-u.ac.jp](mailto:info@ohu-u.ac.jp)

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。

平成30(2018)年度 夏のオープンキャンパス実施日程

OPEN CAMPUS 2018 SUMMER

夏のオープンキャンパス2018

7/14(土)・8/9(木)・10(金) 10:00 ~13:00

10:00~(5分)	オリエンテーション
10:05~(25分)	学部紹介・入試説明
10:30~(30分)	ミニ講義
会場: 本学	11:00~(10分) 休憩
	11:10~(30分) キャンパス見学
	(30分) 実習体験
	12:10~(50分) 個別相談・学食体験



- 事前予約要(本学ホームページ又はお電話で申し込み下さい)
- 全日程保護者同伴可(保護者のみの参加も可能です)
- JR郡山駅から無料送迎バス(郡山駅発 9:00-9:30、大学発 13:00-13:30)

個別見学者 随時受付中

オープンキャンパス開催日以外で、個別で大学を見学に来られる方を歓迎します。

日 時 / 月曜日~金曜日の9:00~17:00の間 (随時受け入れ/土日・祝祭日を除く)

対 象 / どなたでも可

申込み / 事前に企画・広報課までご連絡ください  
TEL: 024-932-9055  
E-mail: info@ohu-u.ac.jp

入試の疑問  
大学生活の不安  
まとめて解消

国家資格は?  
奨学金は? etc.  
知りたいこと  
お応えします

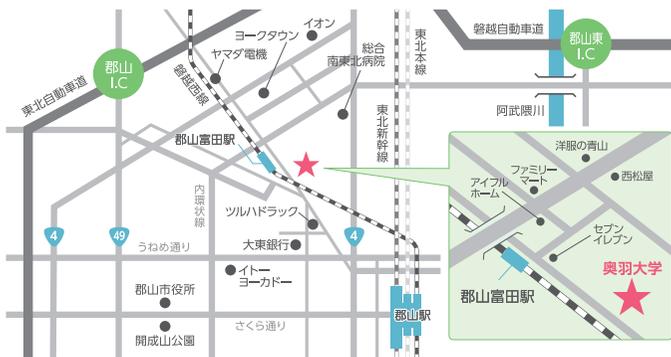
保護者のみの  
個別見学・相談も  
受付しております

個別見学のメリット

- 専門スタッフが参加者の希望に合った見学プログラムをコーディネートします
- 平常授業日の場合は、希望の講義・実験・実習を好きなだけ聴講できます
- 在学生と昼食懇談ができます
- 保護者、友人、知人同伴参加はもちろん可能です
- その他、事前予約でスタッフが相談に応じます

見学プログラム事例

- 月○日(木)
- 10:00 母親と2人で来学
  - 10:10 個別進学相談 (入試情報・教育内容など)
  - 10:30 薬学部授業見学 「疾患薬理学」(3年次) 講義聴講 「薬理学実習」(3年次) 実習見学
  - 11:30 施設見学
  - 11:50 学食体験・薬学部学生との懇談
  - 12:40 進学相談(学校生活・奨学金など)



Innovative Future  
奥羽大学



TEL 024-932-9055

奥羽大学 検索  
www.ohu-u.ac.jp

奥羽大学へのアクセス

- 福島交通バス JR郡山駅より約10分
- JR磐越西線 郡山富田駅 西口より徒歩3分(平成29年春新設)
- お車でお越しの方
  - 郡山I.C.より約15分
  - 郡山東I.C.より約15分

新幹線利用

- ・盛岡 - 83分 (仙台駅乗換え時間を含む)
- ・山形 - 81分
- ・仙台 - 35分
- ・宇都宮 - 27分
- ・大宮 - 51分
- ・東京 - 77分



飛行機利用

- ・札幌 - 80分
- ・大阪 - 65分